

2018年4月10日

北海道教委員会
教育長 柴田 達夫 様

日本共産党北海道議会議員団
団長 真下 紀子
日本共産党旭川市議会議員団
団長 能登谷 繁

教職員の配置欠員の速やかな改善を求める緊急要請

新学期が始まった6日朝、旭川市内の小学生の子を持つ保護者から、全市的な教員不足のため配置定数が確保されず担任が決定するまでの間臨時担任で対応するという前代未聞の事態となっていることが明らかとなった。ただちに旭川市教育委員会から事情を聞きとり、緊急の改善要請を行うに至った。旭川市教委は、現在1校把握している臨時担任はただちに改善したいとのべ、速やかに正常配置することが約束された。

新学期当初から児童生徒の安全安心な学校生活の基礎を揺るがす由々しき事態が起こった背景に、道教委の採用数が旭川市内でも7人欠員しており、産休・育休代替教職員の欠員にとどまらず、特別支援教員にも影響が出ていることが明らかになった。また、道立学校においても専門教科の担任が不足している状況がある。そもそも道費職員の決定的な不足に原因があるといえる。道として、道費教職員の不足と影響について直ちに実態を調査・把握し、適正な採用と配置の速やかな実施が不可欠である。

教職員不足の要因には、過酷な職場環境が改善されない問題、期限付きの不安定な任用が本採用につながらないなど構造的な問題がある。こうした問題から目を背けることなく全道的見地でただちに改善をはかるとともに、教育環境を整えるよう求める。

記

1. 道費教職員の不足と影響について直ちに実態調査し、適正な配置を速やかに行うこと。
2. 教職員不足の背景に教職員の採用が少ないことがある。市町村教委が適切に配置できるよう余裕をもって採用すること。
3. 道教委における期限が付された採用など不安定な採用形態が続き、免許を更新しても採用に至らないこと、はたらき方改革が進まないため就業環境が厳しい、免許更新制度による免許継続の困難さなど、構造的な課題がある。こうした課題を整理し、解決を図っていくこと。
4. 道費職員の不足は、特別支援学校の複数配置の欠員や、産休・育休代替にしわ寄せされている現状がある。教職員の欠員を放置することなく、適正に配置すること。

以上